

まち協の名称決定！

ゆとり王国



ゆとり 湯・土・里の今田

今田まちづくり協議会では今田町内外の多くの皆様にもっと今田町に親しんでいただけるようにこの名前を付けました。

今田を胸ときめくまちに、そのためにサブテーマを湯・土・里の今田としました。湯はこんだ薬師温泉ぬくもりの郷、土は丹波焼と農業を表し、里は「農・自然・若者・翁・連」の五つの里づくりを進めていきます。

七月から九月のワークショップで熱いご意見を頂戴した皆様、そして新たに今から私も今田を元気なまちにしたいとお思いの皆様とともに「ときめき王国」づくりを具体的に進めてまいります。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしています。

☆ゆとり王国へのご第一回目日程

日時 十二月 二日(水) 午後7時より
場所 今田まちづくりセンター

内容 五つの里づくりの説明、その後進め方について協議をしていただきます。

※参加資格は今田を良くしたいとお思いの方であればご参加いただけます。

■第二回目の日程

日時 十二月十七日(木) 午後7時より
場所 今田まちづくりセンター

ときめき王国の目指す里づくり

次の基本構想を基にご参加いただいた皆様に具体的な計画を立案していただきます。

またそれぞれの里づくりにおいて村長さんの任命やキャッチフレーズなど遊び心を入れながら一味違ったユニークな組織で楽しく活動をしていただけるように進めてまいります。

農の里づくり

【小川義人】

今田町における二つの主力産業である農業と観光事業を相互に関連付けて発展させることにより地域の新たな魅力を伝え、来訪者や定住者を増やし地域全体を活性化したい。

当地域には温泉や丹波焼を目的として、多くの方が訪れているが、その方々に農作物を自分で育て収穫する機会を提供したり、地域の農産物や特産物を使った料理でもてなす機会や施設を提供することにより、今田の新たな魅力を知ってもらい地域への再訪を促す仕組みづくりを行いたい。

自然の里づくり

【松本真市・檜皮悦司】

今田町の新緑と紅葉は全山三百六十度の素晴らしい景観を作っている。都市圏近郊のこの自然とサギソウの保存活動などを含め自然を徹底的にアピールすることで今田ブランドを確立させたい。

若者の里づくり

【大西和夫】

最近、田畑で仕事している若者を見かけることはあまりありません。それに引き換え大阪や神戸には、平日の昼間でも若者で溢れています。田舎には若者をひきつける魅力がないのでしょうか。農業政策の失敗？ 人間付き合いのわずらわしさ？ 家族制度の崩壊 核家族化等々、今、正に皆でこの問題に取り組む時期がきたのではないのでしょうか。

一人の意見では限りあるけれど、多くの意見を蓄積し若者の国の方向性を見出したいと考えています。

翁の里づくり

【田中良晴・前川光子】

高齢者がいつまでも安心・安全・元気で生活できる環境作りが必要と考える。生活の範囲が制限される中でいろんな活動の場を通して楽しかった、面白かったと言える日が一日でも多く取り入れられる環境を整備したい。

それには老人会はもとより自治会、民生委員、福祉委員、そしてまち協がともに連携をとりながら事業を進めていきたい。

連の里づくり

【神山正・竹中富士子】

最近うすれてきたと言われている「人情」のあふれるまちづくりと、人と人の心の通いあう今田づくりを行政とは別の視点から考え今田に生まれた人も、住み着いた人も、今田で良かったと思える町に、そしてふるさと今田を自慢してもらえそうな町「今田」にしたい。

共感頂く方、まち協を応援して下さい。一緒にやりたい方、ぜひ里づくりに参加して下さい。お待ちしております。



みんな来てな

